

たかすっ子

学校だより 第9号

令和4年1月6日発行

千葉市立高洲第四小学校

挨拶を大切にして、年度末の3か月を過ごす

校長 渡辺 基博

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えた朝、プール一面に氷が張るほどの厳しい冷え込み中、校舎の上は雲一つない澄み渡る青空が広がり、引き締まる思いとともに、心を新たに学校経営に向かう気持ちになりました。

そして、冬休み明けの本日、子供たちの明るい声や笑顔に包まれながら、令和4年のスタートを切ることができました。さて、本日の集会の中で、昨年度の6年生が考えた、高洲四小の目指す挨拶を示し、「挨拶を大切にしながら、残りの3か月をがんばろう」という話をしました。

四小の目指す挨拶

- ① あいての顔を見て
- ② いつも明るく
- ③ わやかな声で
- ④ なげよう 四小の絆

昨年度の学校だよりも書かせていただきましたが、「おはようございます。」という言葉は、心をかよわすコミュニケーションのためだけでなく、自分の道を自ら切り開くための勇気にもつながる大切な言葉だとも思っています。6年生は卒業までの登校日が48日、1～5年生は修了式まで51日となり、新しい学年に進級、進学していくための大切な日が続きます。一日のスタートでもある「おはようございます」が、進んで学ぶ意欲につながるよう、校門や昇降口で声をかけ、後押ししていきたいと考えています。ご家庭でも、朝の挨拶ができるように、ひと声かけていただけると助かります。

話が変わりますが、昨年12月、6年生の農山村留学を鴨川青少年自然の家で、また、5年生の移動教室も千葉市少年自然の家で、それぞれ2泊3日で実施することができました。昨年度はコロナの影響で6年生が1泊2日、5年生は実施できなかった宿泊学習ですが、学校と異なった環境で、宿泊を共にすることで学べることも多く、子供たちの成長にとって行事の持つ意義を改めて感じる事ができました。

初詣など、年末・年始の様子を見ると、コロナ前の活気が戻ってきている感じがします。一方で、新規感染者数が増えてきており、海外では1日の新規感染者が最多となっている国々も多くなってきています。

気分がゆるむと、感染対策もゆるみます。コロナだけでなく、冬は、インフルエンザ、感染性胃腸炎等も流行しやすい季節でもあります。学校では、これまで同様、手洗い・消毒、黙食、ソーシャルディスタンスの他、スクールサポートスタッフを活用した施設や用具等の消毒も引き続き行ってまいります。行事等の教育活動についても、これまでの実績、他校の取組を参考にしながら、子供の成長を育める活動を工夫していきたいと考えております。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力、並びに、健康面や食事面につきましてご留意いただきますようお願いいたします。